



夏期の開園は 4月29日から11月3日までです
これまでより夏の開園が長くなりました

ASAHIYAMA ZOO

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104

祝 夏の動物園 開園!

4/29



昔、タンチョウは北海道のいたるところで見られたんだよ。でも、今は限られたところだけ…。

命あふれる新施設を見に来てくださいね。
要なものが見えてくるかもしれません。まずは、かを考えてみましょう。すると彼らのくらしに大切なものが、どんな場所、どんなくらしをしているのかが、どんどん明らかになってくるでしょう。このオープンをきっかけに北海道でくらす動物たちにダイナミックな舞いが見られるでしょう。さらにダイナミックな舞いが見られるでしょう。また、秋から春にかけて、求愛の舞いがみられます。

2011年の夏の開園と同時に、タンチョウ舎と 両生類・は虫類舎がオープンします。となりあう2つの施設はゆたかな水辺・湿地が共通点。さまざまな命のくらしを通して、北海道の自然を考える施設になってほしいとの願いが込められています。

ゆたかな水辺～命のつながり～

タンチョウ舎、両生類・は虫類舎 オープン!!



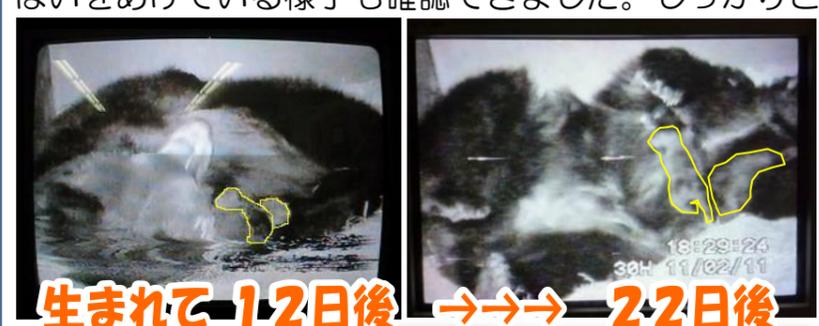
もう1つの新施設、タンチョウ舎は湿原をイメージし、豊かな水辺のタンチョウのくらしが見られます。ドジョウや小魚などを与えることもあります。また、秋から春にかけて、求愛の舞いがみられます。

お待たせしました!! 冬の間見られなかった動物たちの引っ越しや、開園準備を終え、いよいよ夏の開園が始まります。今年、両生類・は虫類舎のリニューアルやタンチョウ舎の新築で、見どころがさらにふえています。また、今年から夏の開園期間が11月3日までと長くなりました。季節のうつりかわりを感じながら、動物たちのくらしをゆったりと観察してください。

1/17 うまれ ヒグマの赤ちゃん すくすく 夏の開園、会いに来てね

去年の12月、もうじゅう館にいるエゾヒグマのとんこ(メス・12才)が、産室に入ってから毎日24時間、ずっと暗視カメラを使って観察していました。「生まれていないかな?」と見るたびにドキドキしていました。

そんなある日の早朝、とうとう、とんこが出産しました。元気な子どもを、なんと3頭もうみました。体重は推定で400gくらい、母親のとんこと比べたらとても小さな赤ちゃんです。ビデオで確認したところ、しっかりと子どもの体をていねいになめてきれいにしています。お腹の毛で子どもがかくれてしまっ見えづらかったのですが、おっぱいをあげている様子も確認できました。しっかりとしたお母さんぶりです。



生まれて12日後 →→→ 22日後
大きく育っているね

とんこ母子の様子は、動物園のホームページの「ししくにゆーす」や「ししくのぶろぐ」で見られます。

それから数日が経ち、とんこの子育てもなれてきたかな、と思ったところに悲しい出来事が起こりました。3頭のこどものうち1頭が死んでいました。とても残念ですが、残った2頭のこどもを無事に育て上げてほしいと願うばかりです。

現在(2月末)は2頭のこどもも順調に育っており、2月15日には子どもの目があいたのを確認しています。このまま順調にいけば夏の開園には親子3頭の姿を見ることができそうです。ヒグマ放飼場も子どもが遊べるような形にする予定ですので、ぜひ楽しみにしててくださいね。

飼育展示係 もうじゅう館担当者より